

MV-22オスプレイ 岩国から普天間へ移動



■ ■ 渡邊一浩 局長が着任 ■ ■

渡邊一浩 中国四国防衛局長の着任式が9月13日に行われました。

渡邊局長は、「地方防衛局の仕事は、地方公共団体をはじめ、市民や企業など多くの人とかわっていかねばならない。マニュアル、既成概念にこだわらず、相手の立場に立って努力し、手作り感のある仕事をして欲しい。」と職員に訓示しました。



渡邊局長は、昭和55年に防衛施設庁建設部土木課に入庁後、防衛大臣官房参事官、防衛省経理装備局施設整備課長、南関東防衛局次長などを歴任し、平成24年9月10日付けで、中国四国防衛局長に就任。広島での勤務は、平成6年6月から約2年間、広島防衛施設局土木課長として勤務して以来、2回目



■ ■ 防衛大臣表彰式 ■ ■

10月13日、森本敏防衛大臣は、かねてから我が国の防衛と自衛隊の任務の重要性を深く認識され、永年にわたり防衛基盤の育成と自衛隊員の士気高揚に貢献のあった米子市の野坂康夫市長と境港市の中村勝治市長(代理 寺澤敬人建設部長)を防衛省に招き、感謝状を贈呈しました。



境港市 中村市長(代理 寺澤建設部長)



米子市 野坂市長



功績著しい企業に局長感謝状

渡邊一浩 中国四国防衛局長は、11月15日、岩国飛行場再編事業や徳島駐屯地施設整備事業において、我が国の防衛に対する深い理解のもと自らの創意工夫と社をあげての努力により、効率的かつ良好な施工を実現された企業に対し、感謝状を贈呈しました。



株式会社 カシワバラ・コーポレーション

《対象工事》

岩国飛行場(H21)下士官宿舎等新設土木工事

吉成建設 株式会社

《対象工事》

徳島(22)新駐屯地庁舎等新設土木工事

中国四国防衛局 永年勤続者表彰

自衛隊記念日にあたる11月1日、永年にわたり職務に精励した防衛省職員が森本敏防衛大臣から表彰されました。中国四国防衛局では5名の職員が表彰されました。



MV-22オスプレイ

岩国陸揚げから普天間への移動までの主な経緯



神風政務官と福田市長との会談

神風英男防衛大臣政務官が、6月11日、岩国市 福田良彦市長と山口県 二井関成知事、山口県議会 柳居俊学議長らと相次いで面談し、MV-22オスプレイを沖縄県の普天間飛行場に配備する前に岩国飛行場に一時的に陸揚げする方針を説明し、理解を求めました。

6月29日、米政府は日本政府に対し、MV-22オスプレイの普天間飛行場への配備を正式に通告し、7月下旬に陸揚げのため岩国飛行場に到着予定であることを発表

森本敏防衛大臣が、7月1日、岩国市、山口県を訪問し、事故の調査結果が日本政府に提供され、飛行運用の安全性が再確認されるまでの間、日本におけるいかなる飛行運用も控えることなどを説明し、理解を求めました。



二井知事と森本大臣との会談

7月23日早朝、MV-22オスプレイ12機を積載した民間貨物船グリーンリッジが、岩国飛行場の港湾施設に接岸し、順次、オスプレイが陸揚げされました。



(写真提供：米海兵隊岩国航空基地報道部)

7月25日、防衛省は、防衛省内外の航空安全、事故調査等に関する知見を活用し、オスプレイの安全性について独自に分析するため分析評価チームを設置



森本大臣と福田市長との会談

森本大臣が、8月30日、岩国市、山口県を訪問し、モロッコで起きた事故原因について、機体に機械的な不具合はなく、副操縦士がマニュアルで回避すべき追い風の状態に機体を置いたことなど人的要因によるところが大きいと説明しました。



山口県 山本繁太郎知事と森本大臣の会談

森本大臣、神風政務官が、9月12日、岩国市、山口県を訪問し、フロリダで起きた事故原因について、副操縦士が事故機と1番機との相対位置を誤認し、事故機を1番機の後流の中に位置させたことなど人的要因によるところが大きく、機体自体が事故の要因になったとは認められないことなどを説明しました。

神風政務官が、9月14日、岩国市議会全員協議会に出席し、オスプレイ配備の意義、モロッコとフロリダで起きた事故の分析評価結果などを説明し、各議員からの質問に対して、岩国での準備飛行の概要、人的ミスの再発防止策、オートローテーション機能などについて丁寧に対応しました。



9月19日、防衛省は「MV-22オスプレイの沖縄配備について」発表

森本大臣が、9月19日、岩国市、山口県を訪問し、様々な角度から検討を行った結果、機体の安全性には特段の問題はなく、日米合同委員会において、十分な再発防止策が採られていることを確認し、地域住民に十分な配慮がなされ最大限の安全策が採られることを日米間で合意したことなどを説明し、国内での飛行運用を開始させることに理解を求めました。

9月21日、米軍は機体の機能確認飛行、操縦士の習熟のための飛行を開始
10月上旬、全てのMV-22オスプレイが岩国飛行場から普天間飛行場に移動

9月27日、国会議員、地元関係者、有識者、報道関係者などを招待し、体験搭乗が行われ、報道関係者に公開されました。



■ ■ 自衛隊の記念行事 ■ ■

自衛隊の各部隊では、自衛隊記念日や部隊創立記念日などに各種の行事を行っており、自衛隊に対する親近感を持っていただくとともに、市民の皆様の自衛隊に対する理解を深めていただくため、駐屯地や基地を一般開放しています。

第13旅団・海田市駐屯地 記念行事(11月4日)



野点

野外コンサート

米子駐屯地創設記念行事(10月21日)



第1術科学校・幹部候補生学校自衛隊記念日記念行事(10月28日)



小月航空基地祭(10月28日)



岩国航空基地祭(9月16日)



航空自衛隊の各基地でも航空祭が行われています。

美保基地航空祭 (5月27日)



防府航空祭 (6月3日)



米海兵隊岩国航空基地 セイフティーブリーフィング



11月14日、米海兵隊岩国航空基地で海兵隊や海軍の隊員らを対象に安全講習(セイフティーブリーフィング)が開催され、渡邊一浩 中国四国防衛局長が、「日本における米軍基地の特殊性」、「事件事故が地域社会に与える影響」、「地域住民との交流の重要性」について、講話しました。

米軍関係による事件の影響

米軍関係者による事件・事故の発生



- ★ これまで、防衛省、在日米軍が築き上げてきた周辺地域との信頼関係を破壊
- ★ 基地反対運動に拡大

★ 日米地位協定の見直しを求める世論

渡邊局長は、ひとりひとりが「良き隣人」として目に見える行動をすることが、基地の安定使用につながり、自分自身の任務を達成する上で非常に重要であると講話を締めくくり、隊員らに理解を求めました。



在日米陸軍第83兵器大隊

川上弾薬庫周辺の地域一斉清掃に参加



9月9日、在日米陸軍第83兵器大隊(呉市)のケビン D. マッカリ-司令官ら隊員と中国四国防衛局 中谷豊企画部次長ら職員が、広島県東広島市に所在する川上弾薬庫周辺で、地元住民や東広島市の職員とともに清掃作業に汗を流しました。

マッカリ-司令官は、「地域の一員として、このようなイベントに参加できる喜びを感じている。これからも続けていきたい。」としています。



■ ■ 岩国錦帯橋空港開港に向けて ■ ■

岩国飛行場における民間空港の再開については、平成15年から日米合同委員会の枠組みにおいて、日米協議を行い、平成17年、1日4往復の民間航空機の運航を認めることが合意され、平成18年、いわゆる米軍再編のためのロードマップにおいて、「民間航空施設の一部が岩国飛行場に設けられる」とされました。

平成21年には、民航施設の整備は国土交通省が、これに必要な土地の共同使用等に伴う日米調整は、防衛省が主体となって実施することとされました。その後、全日空株式会社が就航を表明し、開港に向けた準備が急ピッチで進められました。

旅客ターミナルビル・給油施設竣工式

10月29日、竣工式が行われ、国や米軍、地元自治体など多くの関係者らが出席し、施設の完成を祝いました。



共同使用に伴う現地実施協定書調印式

11月16日、岩国飛行場の一部の共同使用に関する閣議決定及び政府間協定が締結され、11月27日に米海兵隊岩国航空基地司令官 ジェームスC. スチュワート大佐、大阪航空局 福内直之局長、福岡管区气象台 橋田俊彦台長、中国四国防衛局 渡邊一浩局長が、共同使用に伴う現地実施協定書に調印しました。



平成24年12月13日 開港



岩国錦帯橋空港
IWAKUNI KINTAI-KYO AIRPORT
2012年12月13日開港

■ ■ 岩国飛行場環境監視委員会 完結 ■ ■

9月11日に第40回岩国飛行場環境監視委員会が開催され、中西弘委員長(山口大学名誉教授)ら4人の委員が出席し、これまでの環境監視結果と審議内容を取りまとめたうえで、環境影響評価書の検証を行い、平成8年度から継続してきた本委員会を完結しました。

中西委員長は、「工事の環境に与える大きな影響は、無かったことに一番注目している。平成8年度から本委員会が設置され、工事完了後も3年間、調査ができたことを喜んでいる。この成果をこれから行われる事業にも是非活用してもらいたい。」と述べ、委員会を締めくくりました。



中西委員長



生活環境・自然環境をしっかりと守ります。

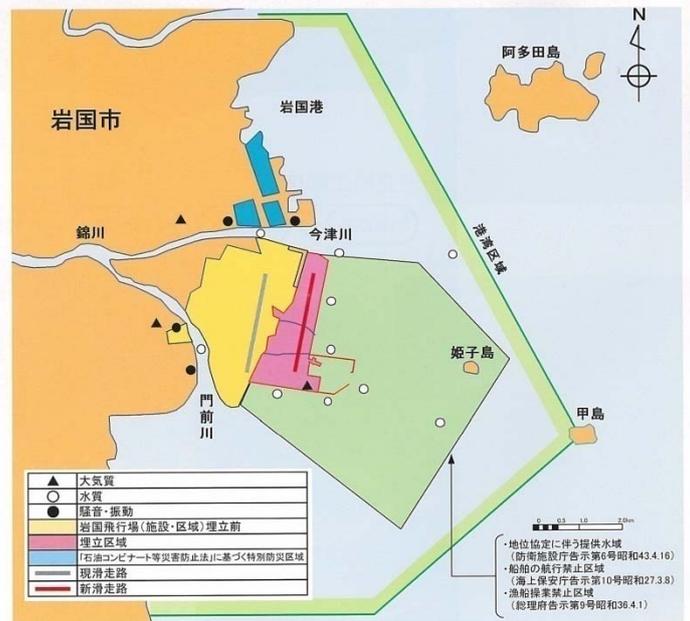
環境監視計画

事業の実施にあたっては、環境への影響を少なくするように配慮することとし、表に示すように、環境監視を実施し、必要に応じて環境保全対策を講じています。
また、具体的な監視計画については、学識経験者を含む「環境監視委員会」の指導・助言を得て適切な環境監視計画を定め、環境保全に努めています。
なお、環境監視項目の測定値が監視基準を上回った場合、原因を究明するとともに適切な対応措置を講じます。

項目	時期	測定項目	調査頻度・監視基準
大気質		SO ₂ 、NO ₂ 、粉じん、風向、風速等	調査頻度および監視基準は、「環境監視委員会」の指導・助言を得て適切に設定しています。
水質	工事期間中	pH、COD(海城部)、BOD(河川部)、DO、SS等	
騒音		騒音レベル	
振動		振動レベル	

(注)上記以外の環境監視項目については、「環境監視委員会」の指導・助言を得て環境監視計画を定めています。

位置図



注)港湾区域は、地位協定に伴う提供水域を除く。



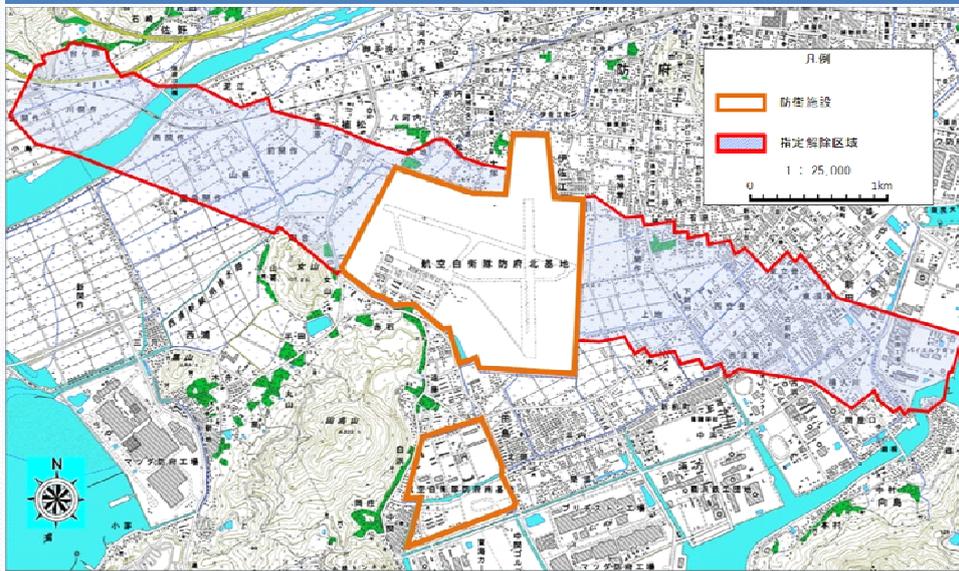
防府及び小月飛行場周辺の住宅防音工事対象区域(第一種区域)の指定解除を平成24年10月31日の官報で告示しました。

住宅防音工事対象区域の指定解除については、平成26年5月1日から適用されます。

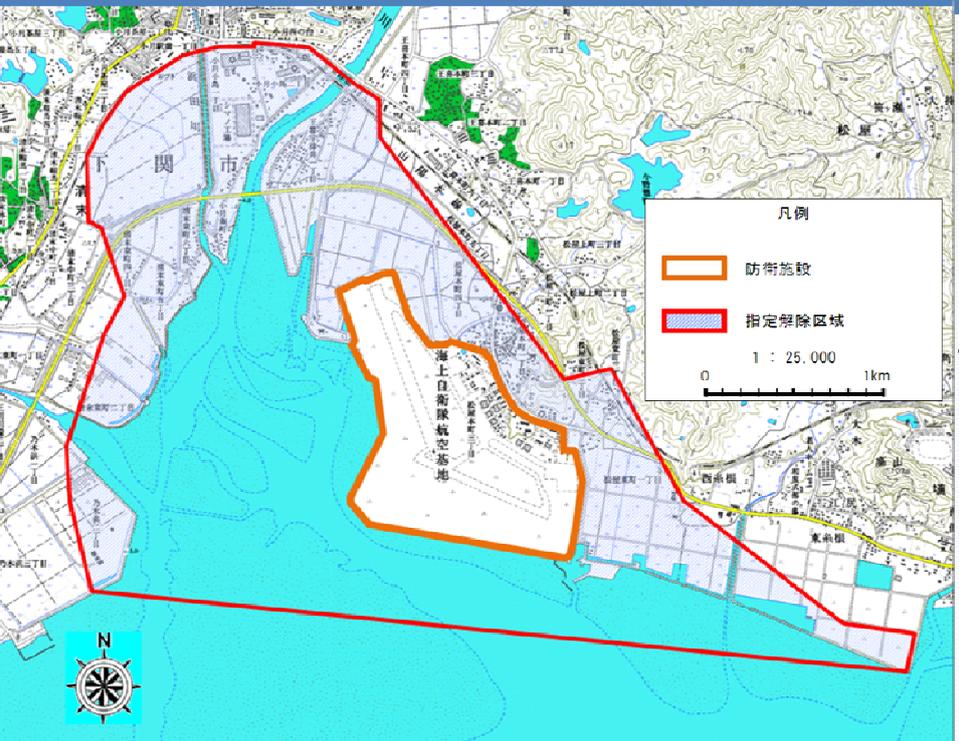
防府飛行場周辺の住宅防音工事対象区域の見直しについて

(第一種区域)

防府飛行場周辺における住宅防音工事対象区域図



小月飛行場周辺における住宅防音工事対象区域図



第一種区域指定解除適用までの措置について

■経過措置 (対象は  部分です)

今回指定解除する第一種区域 ( 部分) において、昭和58年12月24日までに建設された住宅を対象として、平成26年4月30日までに工事の希望届を提出された方に対し、従来と同じ内容で防音工事及び機能復旧工事の助成を行います。

詳しい内容については
中国四国防衛局のホームページをご覧ください。

中国四国防衛局のホームページアドレス
<http://www.mod.go.jp/rdb/chushi/>

お問い合わせ先
中国四国防衛局 企画部 防音対策課
電話 082-223-7211

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平24情複、第226号)

■ ■ 在日米軍従業員 永年勤続者表彰 ■ ■

在日米軍従業員永年勤続表彰式が、10月12日に呉市内のホテルと10月22日に米海兵隊岩国航空基地のクラブで行われ、永きにわたって職務に精励し、円滑な業務遂行と日米親善の増進に寄与したことに対し、防衛大臣及び在日米軍司令官から表彰しました。各会場には、江田島市 田中達実市長や岩国市 福田良彦市長らが来賓として出席し、祝辞を述べました。



在日米陸軍第83兵器大隊 30年勤続表彰の皆さん



米海兵隊岩国航空基地 30年勤務表彰の皆さん

■ ■ 在日米軍従業員募集 ■ ■



独立行政法人
駐留軍等労働者労務管理機構

岩国支部 〒740-0027 山口県岩国市中津町2-15-35
TEL:0827-21-1271 FAX 0827-21-1273
呉分室 〒737-0051 広島県呉市中央1-6-9
TEL:0823-32-7087 FAX 0823-25-2008

どんな仕事があるのか

職種	業務内容
事務・技術関係	庶務、会計、通訳などの事務関係、建築、土木、機械など
技能・労務関係	補修、点検、運転などの技術関係、清掃、販売、ウェ이터・ウェイトレスなど
警備・消防関係	警備員、消防員など
医療関係	歯科衛生職、医療技術職など
看護関係	看護職、看護助手職など

応募方法は

欠員等必要に応じて随時募集しています。次の方法でご応募下さい。

- ① インターネット応募 (24時間受付中)
(<http://www.lmo.go.jp>) ヘアクセス!
- ② 携帯サイト応募 (24時間受付中)
(http://oubo.lmo.go.jp/bosyu_list_m/) ヘアクセス!
- ③ ハローワーク(職業安定所)応募 最寄りのハローワーク窓口へ
- ④ 窓口応募 最寄りの支部又は分室にて受付中

